

宝塚市長選挙公報

令和3年4月11日執行

発行者
宝塚市選挙
管理委員会



森脇 やすと

国県市連携！宝塚を元気に。

- 【実行】行財政構造改革 破綻に近づく市財政を再建
 - 【実行】教育再生 子ども中心の教育行政、学校づくり
 - 【実行】「命」と「健康」を守る 実効性ある感染症、災害対策強化
 - 【実行】未来への投資 商工業・観光を振興 四車線道路・河川整備など推進
 - 【実行】自立と連携！中核市へ 宝塚の独自性を発揮
- ### ふるさと愛 22年の経験と実績

昭和27年 宝塚市西谷に生まれる
 昭和50年 関西学院大学経済学部卒
 昭和56年 米国シラキュース大学 行政大学院行政学修士
 昭和58年 繊維機械メーカー海外営業
 昭和62年 村田機械㈱営業

平成11年 宝塚市議会議員当選（一期）
 平成15年 兵庫県議会議員当選（五期）
 ○文教、健康福祉各常任委員長、県監査委員、県会自民党議員団幹事長、自民党議員団政務調査会長、決算委員長などを歴任

森脇 やすと プロフィール



末永 やよい

すえなが 無所属

”あたりまえの生活”を守る3つの取り組み。

1. 財源を確保し、教育費や土木費にお金を！
 - 予算配分を見直し！ 全国平均より高い人件費(約25億円分)・民生費(約73億円分)を平均より低い教育費・土木費へ回し、老朽化問題に着手。
 - 事業の見直し！ 約25億円かかる新庁舎建設を中止し、代替案を検討。赤字事業の縮小・統合・停止を行い、さらなる赤字を阻止。
 - 経費を削減！ 他自治体と連携し経費を削減。デジタル化を進め、紙やインク等の経費も削減。さらに市長報酬を最低40%カット。

2. “最低1,000億円”必要！？市民に危機が迫る状況の改善。
 - 安全確保不足 市道の約9割が老朽化危険地帯拡大中
 - 子供への危険大 築40年超の学校7割新耐震基準ではない
 - ゴミ処理不可 ゴミ処理場日本最古へ建替費用300億円超
 - 十分な医療困難 大赤字経営の病院 築36年で老朽化進む
 - 上下水道値上げ？ 水道管の老朽化 上下水道事業も大赤字

3. 市民が抱える悩みの解決に取り組む。

いじめ問題	待機児童問題	学生の勉強をサポート
いじめは一生の傷。心のケアも大事。相談窓口の設置はもちろん、心の安全地帯を確保できるように補助制度や場所づくりにも取り組みます。	働きたくても働けない人がいる。保育園児枠、学童保育枠を拡大するための補助や施設確保への取り組みを行います。	学費・生活費の負担は大きい。宝塚市独自の奨学金制度を復活させ、費用の負担を軽減し、未来の選択の幅を広げられるようにしていきます。

他、高齢者の健康寿命を伸ばす制度や、出産や結婚の後押しとなる補助等、様々な人が抱える悩みを減らせるよう取り組みます。

プロフィール 1967年生まれ。3人の息子の母。息子がいじめを受けた過去が様々な活動を行うきっかけに。宝塚市に約17年在住し、人権啓発活動や山手台小PTA会長など地域の活動を10年以上行い、市の財政や教育環境などの問題を認識。



宝塚を前へ進める

日本維新の会

- 行財政改革**
 - 企業・団体・組合に依存しない選挙をする維新だからこそできる『しがらみの無い財政改革』
 - 自らを技術責任者としてのIT会社経営という経験を活かし自治体DX(デジタルトランスフォーメーション)を積極的に推進。市民の利便性を高めると共に市役所職員の業務効率を向上
- 都市ブランドの再構築**
 - インフラ整備に必要な財源を維新の改革で確保。住み続けたいと思える街へ
 - 知名度を活かし、リモートワークの拡がり企業への地方移転を想定した受け皿作り
- 安心・安全**
 - カメラとBluetoothを利用した子どもや高齢者の見守りネットワークを構築
 - 豪雨災害や土砂災害に対し避難する事をためらわない避難所の整備
- 教育**
 - 公教育を充実させるため横並びでは無く頑張る先生を積極的に支援
 - 不祥事が相次いだ教育現場。風通しを良くするための人事刷新
 - 増え続けている不登校児童生徒の学習機会の確保
- 県市連携**
 - 洗滞解消を目的とした道路整備
 - 市立病院の赤字体質を改善するため地域医療の役割分担を推進
 - 西谷の県有環境林1,000haを実現可能なアイデアで利活用
- 身を切る改革**
 - 市長給与20%カット
 - 市長退職金の廃止(1期4年で約2,000万)

プロフィール

H3(1991年)	大阪教育大学在学中に起業、イベント運営会社・ITコンサルティング会社を経営
H22(2010年)	維新政治塾一期生
H27(2015年)	兵庫県議会議員初当選(H31・二期目当選)



門隆志

カドタカシ



山崎はるえ

やまさき 無所属

OPEN宝塚！

- あなたと《ともに創る》宝塚新時代！
- あなたにOPEN！
- あなたの声・多様な力をまちづくりに活かせる組織と仕組みをつくります。
 - 広く情報を公開し、市民の理解と協力のもと、行財政改革を前進させます。
- 教育をOPEN！
- 多様な子どもたちの声を聴き、生きる力を育む教育現場をつくります。
 - 教育現場における問題の解決、再発防止のため外部の専門家の関与も含めた組織づくりを進めます。
- 暮らし・経済をOPEN！
- 市民の命と健康を守るための医療体制を整備します。
 - 市内の事業の活性化を図るとともに、豊かな自然資源を活用した持続可能なまちづくりを進めます。

推薦人 中川智子(宝塚市長) 井上保子(山崎はるえ後援会 会長) 津久井進(弁護士)
 大野良平(現代美術家) 岸本洋子(弁護士) 木村佳友(日本介助犬使用者の会 会長)
 木下達雄(浄土宗 大林寺 前任職) 辻司(画家) 山崎之嗣(宝塚市医師会 元会長)

プロフィール 1970年岡山県生まれ。弁護士。神戸女学院大学卒業。大学卒業後、心理カウンセラーを経て法律家の道を目指し、「一人ひとりの心に寄り添うことのできる」弁護士として宝塚で法律事務所を開設。



ホームページ

「投票日 4月11日（日） 午前7時から午後8時まで」

宝塚市長選挙

投票日4月11日（日）

投票時間 午前7時から午後8時まで

- ※ 投票所の場所は、投票所入場整理券をご覧ください。
- ※ お体の不自由な方は、付添いの方も一緒に投票所に入れます。
- ※ 投票日当日に投票に行けない場合、4月10日（土）まで期日前投票ができます。

新型コロナウイルス感染症感染防止対策について

- 投票所にご来場の際は、マスクの着用をお願いします。
- 投票所入口にアルコール消毒液を設置していますので、手指等の消毒にご協力をお願いします。
- 飛沫防止パネルを設置しています。
- 投票用紙の記入用に、使い切り鉛筆をご用意しています。ご持参の鉛筆又はシャープペンシルもご使用していただけます。
- 列に並ぶ際は、前の人と十分な距離を保つようお願いします。
- 投票所は午前7時から午前9時、午後1時から午後4時までの時間帯が比較的すいています。

令和3年4月11日執行

宝塚市長選挙公報

発行者
宝塚市選挙
管理委員会